３．５ 久野庄太郎と愛知用水

NHK プロジェクト X　第 88 回（平成 14 年 5 月 28 日放映）「命の水 暴れ川を制圧せよ～日本最大　愛知用水・13 年のドラマ～」を観た。

愛知県知多半島、そこには大きな河川もなく、大地はいつも水不足で、干害に苦しむ多くの農民がいた。日照りのときは、少しの水をめぐり争いが起きた。

そこで、「暴れ川」と呼ばれる木曽川の水をこの半島まで引こうと二人の男、久野庄太郎と浜島辰雄が立ち上がった。

その想いに賛同した多くの同志と共に、地域の人々、県、国を動かし、作り上げた。壮大な愛知用水建設事業のドラマだった。私財を投げ打ち、命を賭してこの事業を成し遂げた群像の「命の水」への感謝の念を強く抱いた。

久野庄太郎（1900-1997）のプロフィール

知多郡知多町（現在の知多市）八幡字中島出身。

農業に専念しながら、山崎延吉氏に師事して食糧増産の実施や農業経営の改善を目指して、知多郡農会や農村同志会などの組織を通じて活動していた。

昭和 22 年に中部地方を襲った大干魃を機に用水の必要性を痛感して、愛知用水運動を開始した。通水後は、建設工事での殉職者の弔いと牧尾ダムで水没した集落の人々への訪問を亡くなるまで続けた。

浜島辰雄（1916-2014）のプロフィール

愛知郡豊明村（現在の豊明市）出身。

安城農林学校の学生の頃に、山崎延吉校長から明治用水のことやその立案者であった都築弥厚の話をよく聞いていた。自ら農林学校の教諭になってからは、学校に勤めながら知多半島へ木曽川の水を引く導水路計画図を作成した。

昭和 23 年、愛知用水運動の新聞報道を見て久野庄太郎宅を訪問。二人はすぐに意気投合し、翌日から現地踏査に出かけ、このデータを元に、「愛知用水概要図」を作成した。

久野庄太郎らとともに、地元農民の啓発運動に奔走した。愛知用水が国家プロジェクトとなってからは、愛知用水土地改良区の技師として愛知用水事業に尽力した。